

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

汚れつちまつた悲しみに  
今日も小雪の降りかかる  
汚れつちまつた悲しみに  
今日も風さへ吹きすぎる

中原の心の中には、実に深い悲しみがあって、それは彼自身の手にも余るものであったと私は思っている。彼の驚くべき詩人たる天資も、これを手なずけるに足りなかった。彼はそれを「三つの時に見た、稚圃の浅瀬を動く蝸虫」と言ってみたり、「十二の冬に見た港の汽笛の湯気」と言ってみたり、果ては、「ホラホラ、これが僕の骨だ」と突きつけてみたりしたが駄目だった。言いようのない悲しみが果てしなくあった。私はそんな風に思う。彼は、この不安をよく知っていた。それが彼の本質的な抒情詩の全骨格をなす。彼は、自己を防禦する術をまるで知らなかった。世間を渡るとは、一種の自己隠蔽術に他ならないのだが、彼には①自分のいちばん秘密なものを人々に分かちたい欲求だけが強かった。その不可能と愚かさを聡明な彼はよく知っていたが、どうにもならぬ力が彼を押ししていたのだと思う。人々の談笑のなかに、「②悲しい男」が現われ、双方が傷ついた。善意ある人々の心に嫌悪が生まれ、彼の優しい魂のなかに怒りが生じた。彼は一人になり、救いを悔恨のうちに求める。A

……これが、彼の変わらぬ詩の動機だ、終わりのない畳句だ。  
彼の詩は、彼の生活に密着していた。痛ましいほど。笑おうとして彼の笑いが歪んだそのままの形で、歌おうとして詩は歪んだ。これは詩人の創り出した調和ではない。中原は、言わば人生に衝突するように、詩にも衝突した詩人であった。彼は詩人というよりむしろ告白者だ。彼はヴェルレエヌを愛していたが、ヴェルレエヌが、何をおいてもまず音楽をと希うところを、告白を、と言っていたように思われる。彼は、詩の音楽性にも造形性にも無関心であった。一つの言葉が、歴史的社會にあつて、詩人の技術をもつてしても、容易にはどうともならぬどんな色彩や重量を得て勝手に生きるか、ここにおのずから生まれる③詩人の言葉に関する知的構成の技術、彼は、そんなものに心を労しなかった。労する暇がなかった。大事なのは告白することだ、詩を作ることではない。そう思うと、言葉は、いくらでも内から湧いて来るように彼には思われた。彼の詩学は全く倫理的なものであった。

この生まれながらの詩人を、こんな風に分析する愚を、私はよく承知している。だが、なぜだろう。中原のことを思うごとに、彼の人間の映像が鮮やかに浮かび、彼の詩が薄れる。詩もとうとう救うことができなかつた彼の悲しみを想うとは。それは確かにあつたのだ。彼を閉じ込めた得態の知れぬ悲しみが、彼は、それをひたすら告白によって汲み尽くそうと悩んだが、告白するとは、新しい悲しみを作り出すことにほかならなかつたのである。彼は自分の告白の中に閉じ込められ、どうしても出口を見つけないでしなかつた。彼を本当に閉じ込めている外界という實在にめぐり遇うことができなかった。彼もまた叙事性の欠如という近代詩人の毒を十分に呑んでいた。彼の誠実が、彼を疲労させ、憔悴させる。彼は悲しげに放心の歌を歌う。川原が見える。蝶々が見える。だが中原は首をふる。いや、いや、これは「一つのメルヘン」だと。私には、彼の最も美しい遺品に思われるのだが。

秋の夜は、はるかの彼方に、  
小石ばかりの、河原があつて、  
それに陽は、  
Bと

Bと射してゐるのであります。

陽といつても、まるで硃石か何かのやうで、  
非常な個体の粉末のやうで、  
さればこそ、  
Bと  
かすかな音を立ててもゐるのでした。

さて小石の上に、今しも一つの蝶がとまり、  
淡い、それでめてくつきりとした

影を落としてゐるのでした。

やがてその蝶がみえなくなると、いつのまにか、  
今迄流れてもみなかった川床に、水は

**B**と**B**と流れてゐるのであります……

問一 傍線部④「自分のいちばん秘密なもの」の内容を示す一〇字以内の語句を文中から答えなさい。

問二 傍線部⑥『悲しい男』とほぼ同じ内容で用いられている語を文中から選び、五字以内で答えなさい。

問三 **A**に入れるのに適当な詩句を文中の引用詩から答えなさい。

問四 傍線部③「詩人の言葉に関する知的構成の技術」の具体的内容として文中に示されている語を二つ答えなさい。

問五 「中原」の悲劇性の本質を最も明確に述べている句読点とも七五字以内の部分をもつて文中から答えなさい。

問六 **B**に入れるのに適当な四字のひらがなを答えなさい。

問七 次の中から「中原」と関係のある項目を二つ選び、記号で答えなさい。

ア 測量船      イ 若菜集      ウ 在りし日の歌      エ 四季

オ 明星      カ 文学界      キ 白樺

二 次の傍線部のカタカナを漢字に漢字をひらがなに直しなさい。

① 要点をハアクする      ② ヒレツな手段      ③ 新たなヘイガイ

④ コショウ調査を実施      ⑤ フンドを感じる      ⑥ 白髪のロウオウ

⑦ シモン会議を開く      ⑧ ケンジョウの美德      ⑨ 反対派をカイジュウする

⑩ 名作をモウラする      ⑪ 悪事をロケンする      ⑫ ダラクした政治

⑬ 曇天が続く      ⑭ 同盟罷業が回避された      ⑮ 人生を享樂する

⑯ 官吏の罪を効奏する      ⑰ 猫に威嚇される